

■ 多言語FM放送 ■

【日本の小・中学校】

今回の「香夢音 I - PAL」は、日本の小・中学校についてです。

外国人の子どもも、公立の小学校や中学校に入学を希望する場合は、日本人児童生徒と同一の教育を受けることができます。

日本では、小学校は満6歳を過ぎた最初の4月から入学することができ、6年間の教育を受けます。小学校を卒業すると中学校に入学することができ、3年間の教育を受けます。

公立の小学校・中学校への入学手続の流れを説明します。

保護者の方は、初めに居住する市町の外国人登録窓口や教育委員会に行き、子どもの小学校、中学校への入学の希望を伝えてください。

「子どもを学校に入学させたいので、手続きをお願いします。」

入学する学校を決めて、手続きをします。

(原則として、子どもの年齢相当の学年に編入されます。)

保護者の方は、子どもと一緒に入学する学校へ行ってください。そこで、先生と今後の学校生活について話し合ってください。

「教育委員会で手続きをして、こちらの学校に入学することになったので、入学手続きをお願いします。」

公立の小学校・中学校の授業料は無償です。

また、小学校・中学校の教科書は、無償で配布されます。なお、給食費・学年費等は、毎月支払うこととなります。

経済的理由により、小学校・中学校への就学が難しいと、市町の教育委員会から認められた場合には、学用品の購入費や給食費への援助を受けることができます。

小学校では、国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭及び体育の各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間について学びます。

中学校では、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語（原則として英語）などの各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間について学びます。

学校には「PTA」という保護者と先生の会があり、保護者と先生が協力し合って「登下校時の安全指導」などの活動を行っています。保護者の方は、積極的に参加しましょう。

日本では、中学校を卒業した生徒の多くは高等学校に進学します。また、高等専門学校や専修学校一般・高等課程に進学する人や、就職する人もいます。

進路については、中学校の担任の先生とよく相談しましょう。

COME ON! I-PAL

英

来週は中国語放送ですので、次回の英語放送は再来週 1月30日 日曜日の午後8時55分から。「健康診断」についてお送りします。

-

中

来週は英語放送ですので、次回の中国語放送は再来週 2月6日 日曜日の午後8時55分から。「健康診断」についてお送りします。